

水彩画教室「港」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

海辺の街に旅行すると 夕暮れの港を歩いてみたくなります 焼津でも 銚子でも 厚床でも 奄美でもそうでした 漁船がもやいを結び 防波堤灯台に灯が入る一瞬の あの静けさが好きなのです



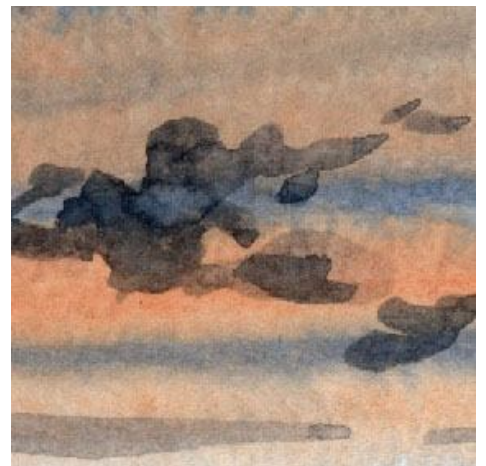
これが完成した絵です



1、空は前の色が乾かないうちに 次の色をおせていきます 偶然の滲みをそのまま生かします



2、上層雲は 彩度を抑えて 淡く描いておきます まずは完全に乾くの待ちます



3、片積雲(千切れ雲)のような下層雲は 背景の空が完全に乾いてから ブルー・グレーで描きます



4、遠くの島影 或いは岬のシルエット 灯火とその反映を描いておくと 効果的です



5、防波堤灯台は 本当は赤灯か緑灯ですが この絵では白い灯火にしました 防波堤の下にその反映も描いておきます



6、手前の漁船ともやい(係留索)も 完全にシルエットで描きますが これは脇役なのであまり丁寧には描きませんでした